

なみ

Vol.17
第17号

発行：令和6年
11月20日



米寿のお祝い会を開催

木崎野寿会会長 村上 敏昭

九月二十一日(土)快晴、木崎野町内の敬老会を開催しました。令和六年度は、三名の方が対象で、合唱の会に所属の方や週一サロンに通い「ほっとあつとなんと体操」をして過ごしておられます。

今年も、歌や踊りのアトラクションがありませんが、市長の「お祝い状」の伝達と町内の有名人の祝辞、井波地域づくり協議会の職員より、お祝いのお言葉を頂いて、過ぎました。昼食の席には、「うな重」を用意して皆で頂きました。友愛訪問して声かけ、敬寿品を配布するお祝いではなく、対象者が集まり、楽しく会話ができるこの寿会で開催することができて良かったです。



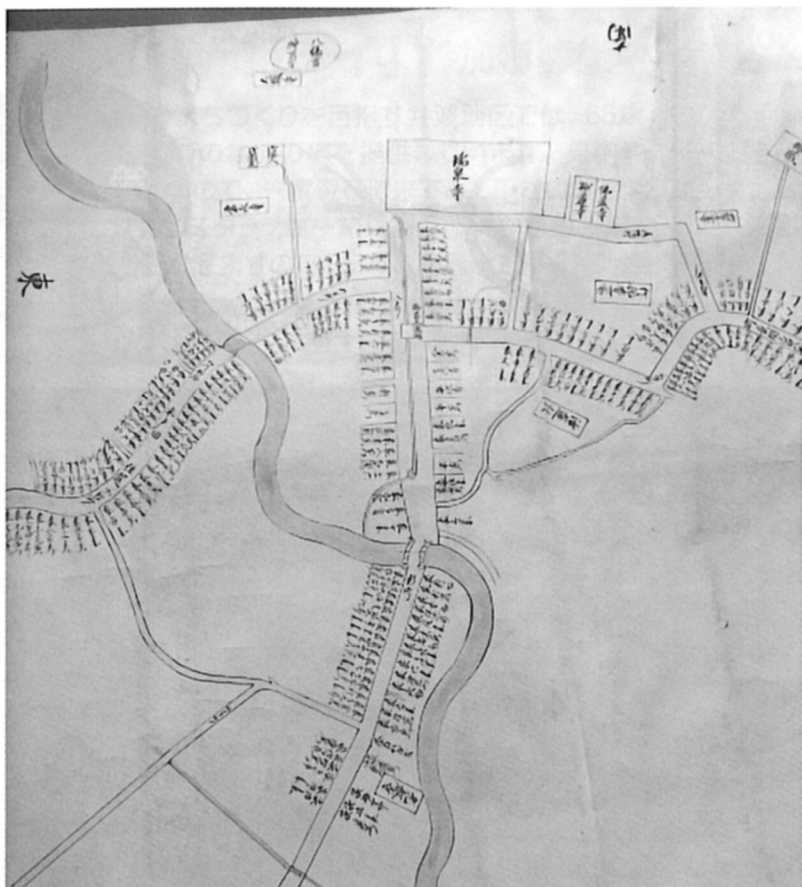
【特別寄稿】

八乙女山の麓かどにならんだ

井波八幡宮と瑞泉寺

長谷川 総一郎

瑞泉寺と井波八幡宮は八乙女山を背景にして隣同士にあります。毎年、瑞泉寺は太子伝絵を開催し、八幡宮はよいやさ祭りを執り行っています。2つの伝統行事や祭りが近づくに住民はウキウキし、当日やその期間中は何となくハレ



宝暦年間の地図(井波図書館、肝煎文書)

の気分になります。2つの行事は住民の心を支え、1年のケジメともなっているようで、今や違和感なく受けとめられています。

しかし、瑞泉寺は仏教であり、八幡宮は神道に属しています。明治維新までの約千年余りは神仏習合の時代でしたが、今もその風習が続き、それが私たちの日常生活に奥深く入り込んでいます。

瑞泉寺は南北朝が統合されたころの明徳元年に開創されましたが、井波八幡宮は明徳4年に創建したといわれています。しかし八幡宮は古く山岳信仰が始まったころにルーツがあるようで八乙女山の語源は巫女みこから来たのではと考えられます。

瑞泉寺は今の八幡宮の場所にあります。ところが戦国期の天正9年、当時の武将佐々成政に攻められ、その後転々として江戸期前半の万治元年に今の瑞泉寺のところに落ち着いています。元の位置は戦いの場所だったからこれを避けたようです。

一方の八幡宮はその後、戦国期に谷集落の大森神社を遷座せんざしています。当時の

八乙女山の麓かどは鎮守の森のように鬱蒼うっそうとしていたようで、今も南山見地区の方向には寺がつく地名が多いように聖なるエリアだったようです。その一角に大森と名のる神社があり、その神社は京都の石清水八幡宮の分霊をうけた中心的神社でした。

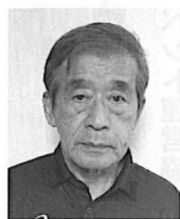
八幡宮綿貫家の先祖は修験者を務め戦国末期には旧井波城(城郭化した元の瑞泉寺)の城域に定住し、瑞泉寺と深い関りがありました。当時の綿貫家は複数の神社と1つの寺院を営み江戸中期頃から南山見地区などに多くの兼務社をもっていました。明治維新以降は神仏分離令に従って神職専門に特化し、以降もしばらくは大森神社の名前で親しまれていたようです。

今でも神輿みこしのご巡幸行列には山岡鉄太郎(鉄舟)が揮毫きごうした大森神社と書かれた白抜きの赤い旗を掲げています。山岡は瑞泉寺の聖徳太子絵伝の天皇上覧のために明治初期に井波にきており、山岡が書いた軸や色紙が井波の各家に残っています。そのおり、八幡宮の大森神社の旗も揮毫したのでしよう。

昔から山川草木さんせんそうもくに仏性ぶつしょうを感じ、今は美しい借景となった八乙女山。その麓かどならぶカミの八幡宮とホトケの瑞泉寺は住民の心の文化の源泉となっています。現在も嗜たしなんでいる書画骨董、彫り物、お花、お茶、お庭、文芸、雅楽や料理などの文化もそんな神仏習合の風習を無視できません。

受賞おめでとーございます

●南砺市功労表彰 令和6年11月1日(金)



荒井 猛さん(東町)

スポーツ推進員として
スポーツの振興に寄与
されました。



角地 永吉さん(三日町)

消防団員として災害の
防護に尽くされました。

「井波講」を開催しました

地域づくり部会長 原田 司

井波地域づくり協議会では、9月3日、午後7時より、井波別院瑞泉寺におきまして、「井波講」を開催いたしました。

「井波講」とは、これからの井波地域における活性化や地域づくりの諸課題について、井波地域づくり協議会の会員をはじめ、地域の皆様とご一緒に、いろいろと意見交換をさせていただきながら、明るい地域づくりに役立ててまいりたいと、企画をさせていただきました。

話題提供・情報提供として初めに、ジソウラボ代表理事の島田優平さんからジソウラボの取組みについて、「若者から選ばれる町を目指してジ

ソウラボを設立し、
様々な分野で活躍
する人材を育てる、
人材輩出の町を目
指している。」事が
紹介されました。

ジソウラボの活動
は、今井波におい
て大きな変革が起
きている原動力と
して、その活動は
全国からも注目されております。

続きまして、先般発表されました、日本遺産認定審査の結果、日本遺産井波が、全国13地域の中から重点支援地域に認定され、文化庁や観光庁の補助事業が有利になり、井波を海外に紹介する事業等に多数取り上げられていることや、瑞泉寺の文化財昇格に向けての、活動報告等の説明がありました。

また、ジソウラボ理事・井波彫刻協同組合理事・南砺市文化芸術振興計画ワーキング部会長でもある前川大地さんは、南砺市いなみ国際木彫刻キャンプの魅力アップについて「ネクストキャンプ検討委員会を設立」したことを紹介されました。

つづきまして、ご来場の皆さまから、これからの井波地域の活性化や地域づくりの諸課題について、様々なご意見をいただきました。

①まちづくりを後押しする住民を募る、サポーター制度の創設

②まちづくりを話し合う協議会・分科会・委員会の設置



③まちの将来を見据えたロードマップやビジョンの設定

④彫刻の町である特徴を活かした、ものづくりの町として移住を促す仕掛け

⑤井波彫刻発祥の地である、瑞泉寺に対する住民の理解と支援の促進

⑥子育てする、ママを支援する仕組みや活動の支援等々、大変貴重なご意見や情報提供をいただき、ワクワクする井波講となりました。

井波講は、今回の1回だけではなく、年に数回継続的に実施し、井波の地域づくりや、地域に関心を持たれている方と情報を共有したいと考えております。

皆様には、井波地域づくり協議会の活動に対し、今後ともご指導と御協力をお願い申し上げます。

尚、井波講は、地域おこし協力隊黒崎さんによって、YouTube動画を井波地域づくり協議会ホームページで公開しております。



「井波講」 動画URL

<https://youtube.com/live/9SLTysJTsDc?feature=share>

スマホから
QRコードを読み込
んでください。



「コミュニティカフェ事業」について

【Community cafe 輪っか】井波女子会

本年度新規事業としてコミュニティカフェ運営事業を行っています。

この事業は、子育て世代の女性の皆さんが兼ねなく集まれ、自由に活動できる場所を提供し、また、地域の歴史や郷土料理を学び、次の世代へ伝える。など、地域内で女性が生き生きと活躍できる機会を増やし、応援することを目的としています。

名前は「コミュニティカフェ(わ)っか」といいます。

メンバーは随時募集しています。一緒にゆるりとお話しましょう。

◇これまでの開催内容

【お茶会】 2回開催しました。



地域や家庭内での疑問や不満について自由に話す機会をつくり、時間の経つのも忘れて地域の話題について参加者で共有しました。

【イベント運営協力】

一般の方が、普段あまり立ち入る機会の少ない輪っかメンバーのアトリエで「立ち寄りアトリエカフェ」を開催されることになり、輪っかの参加者も会場でお手伝いをしました。

来場者は子供から50代以上まで70名で中には外国人の姿もあり、ほど良い地域交流の場になりました。

【地域内行事を知る】

知っているが詳しく知らない地区内の行事「太子伝会」に初めてお参りし、山門にも登りました。瑞泉寺や太子伝について子どもにも大人にもわかりやすくお話いただきました。親子で総勢31人が参加しました。



【地域の歴史を知る】



井波城跡を歩き、井波八幡宮、松島大杉など井波のルーツをめぐりました。歴史について学ぶことで、新たな発見につながりました。19人参加しました。

◇今後の予定

【郷土の料理づくり体験】かぶらずし

12月1日(日)井波総合文化センター(予定)

【料理教室】 困った時の一品

1月25日(土)井波総合文化センター(予定)

【お茶会】

2月8日(土)よしみ工房

開催案内はSNSや口コミで行っていますが、参加ご希望の方は、井波地域づくり協議会までご連絡ください。お子さんと一緒に参加することもできますよ。

【連絡先】 井波地域づくり協議会

TEL 82-3744

「俳句教室」

井波中学校3年生の皆さん

5月21日から修学旅行で訪れた京都・広島の情景を読んでいます。優秀作品をご紹介します。

- ・快晴の原爆の日にもう遭わぬ 野村 凌平
- ・あの夏の原爆ドームの苦しみよ 中川 颯人
- ・原爆の跡地に広がる夏の草 土田 菜緒
- ・宮島へ船で一息若葉風 辻井 心彩
- ・夏の空 朱く輝く千の鳥居 竹原 美遥
- ・風薫るフェリーに乗って宮島へ 市野翔一朗
- ・八ツ橋を試食で選ぶ夏の昼 戸田 悠希
- ・夏の空七十九年の時を経て 瀧川 泰生
- ・原爆忌ボロボロの服涙する 杉森 咲来
- ・炎天下 京都の町で影探す 杉下ひなた
- ・雷鳴や 平安神宮 凶みくじ 楠 大和
- ・青空の 水槽泳ぐ 鯉幟 岩崎 美琴
- ・夏の旅帰ってほっとこんぺいとう 山本 咲希
- ・語り継ぐ原爆の日の悲しさを 松井 佑晟
- ・鶴折って平和を願う終戦日 中田 結菜

谷川で遊ぶほう！

「イワナのつかみ取りと塩焼」

令和6年7月28日(日) 文化・スポーツ部会

冷たい川で水しぶきをあげながら自ら手でイワナをつかみ取り、塩焼にしていただく夏ならではの体験を行いました。



場所は福光の「いわなの里 太谷川」です。

イワナを見つけても中々うまくつかむことができずに最後には網も登場しましたが、熱々の塩焼を食べて「ごちそうさまでした。」と感謝の言葉をかけていました。

少し寂しい参加人数でしたが、夏の楽しいひと時を過ごすことができました。

「防災講習会」を開催しました

令和6年10月16日(水) 井波地区防災会

井波地区防災会では井波社会福祉センターにおいて防災会役員と地域づくり協議会役員を対象に防災講習会を開催しました。

講師に南砺市総務部山田総務課長、斉田防災危機管理係長のお二人をお迎えし「もし災害が発生したら、自分の命は自分で守る」と題し

てお話を伺いました。

以下、災害がおきる前からの備えや災害時の行動について大まかにまとめてみました。

①土砂災害について

井波地区には土砂災害警戒区域が地区内の山沿いの南側に入っています(洪水の被害は想定されていない)。

土砂災害をもたらす風水害は情報を収集することである程度は予測ができますので、「南砺市からの避難情報の発令」で早めの避難行動をとってください。現在運用されている避難情報の警戒レベルは「レベル3で高齢者などは避難」、「レベル4では全員避難」になります。

避難する時はできれば両手が自由に動かせ危険を回避することができるリュックをおすすめします。

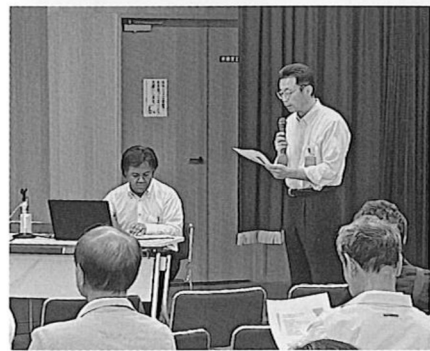
②地震について

地震はいつ発生するかわかりませんが、ラインが止まっても、自宅に被害がなく、下の表のような災害備蓄品を備えていれば、3日程度までなら自宅で生活することができます。

また、すぐに持ち出せる非常用持出し品を準備しておくことや家具などの固定が大切です。

③避難所について

井波地区は、一刻



を争う津波発生時のような避難は想定されていませんから、一昼夜程度の「二次避難所」は町内会で開設する「町内会公民館」や井波地域づくり協議会が開設する「アスモ」を避難所とします。で、避難の必要がある場合は利用してください。なお、地震後の停電時に避難する時はブレーカーを落とすことが大切です。また、一時避難所へは身の回り品を自分で用意して避難してください。

避難が中長期化する場合は「二次避難所」として南砺市が体育館等の公共施設を避難所として開設することになっています。

講習会の最後に能登半島地震に伴う応急復旧支援活動について長井利夫様(ナガイ工業)から、七尾市での水道応急復旧支援活動の様子をお話していただきました。

災害備蓄品の例(復旧するまでの3日間程度)

食品(レトルト食品等最低3日分)	カセットコンロ・ボンベ
飲料水(一人1日3L程度)	ラップ・アルミホイル
給水用ポリタンク	衛生用品・簡易トイレ
ティッシュ、ウエットティッシュ	ゴミ袋・大きなポリ袋
紙皿、紙コップ、割り箸	電池・懐中電灯
毛布・タオルケット	石油ストーブ
その他必要と思われる物品	処方薬等

「あすも元気デイ」参加者募集中

健康長寿のまちづくりを目指す井波地区では、65歳以上の高齢者の集いの場を提供しています。見学や体験も出来るので、一度遊びに来て下さい。また、見守りスタッフが一緒に寄り添いながら、楽しい時間を過ごせますので、安心な居場所です。

介護予防・日常生活支援総合事業(通所サービスB型)

日 時	毎週木曜日(祝日は休み) 10:30～15:00
会 場	アスモ 1階
対 象 者	65歳以上で、一人暮らしや日中の時間、高齢者だけで生活している方 ※介護認定を受ける必要はありません。
参加料金	1回 750円 (利用料250円、昼食代500円)
プログラム	体調チェック・なんと体操・昼食 ゲーム・カラオケ・ものづくりetc

毎週実施していますので、足の都合で来場出来ない方は、一度、当会に相談下さい。要相談

参加ご希望の方は **井波地域づくり協議会**
電話82-3744 までお申し込みください。

12月～令和7年.3月の行事予定

12月 1日(日)	Community café輪っか「郷土料理」
7日(土)	クリスマス会:きぼりっこ
13日(金)	青色防犯パトロール(28日まで)
R7. 1月 2日(木)	新年祝賀会
4日(土)	消防出初式・防火祈願
12日(日)	南砺市二十歳の集い
13日(月)	左義長
24日(金)	元気塾(1/31、2/7・14・21)
25日(土)	Community café輪っか「料理教室」
2月 1日(土)	競書大会表彰式
8日(土)	Community café輪っか「お茶会」
期日未定	井波全体サロン
3月 20日(木)	広報いなみ 第18号発行
期日未定	福祉研修会
//	井波講

※都合により中止又は変更する場合があります。

お店紹介

LAW

南砺市山見587-1

Tel: 77-4030

店主: 大田直喜さん

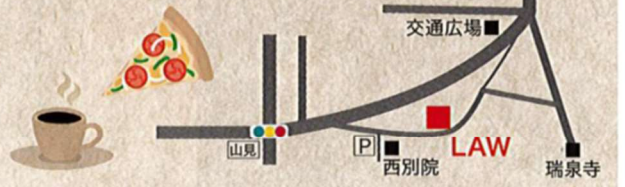


BAKERY/CAFE/PIZZAのお店LAW(ロー)です。パンやピザの生地は自家製天然酵母を用いて製造し、コーヒーも無農薬で自然栽培された豆を自家焙煎しスペシャルティコーヒーを提供させていただきます。LAWは富山県の豊かな自然の恵みを活かし、地域社会と自然環境が良くなっていく持続可能な循環型のお店を目標にしています。

【開店曜日・営業時間】

営業時間 11:00～17:00

定休日 毎週火曜日、水曜日



井波地区の人口と世帯数の推移

△印: 減少

	R6.10月末 現在	R5.10月末 現在	増 減
人 口	3,998人	4,081人	△ 83人
男 性	1,883人	1,924人	△ 41人
女 性	2,115人	2,157人	△ 42人
世帯数	1,687世帯	1,690世帯	△ 3世帯

オレオレ詐欺、 還付金・サポート詐欺 多発!

昨年に比べ、富山県内での特殊詐欺が増えています。
今日からできる対策として…

- ①防犯機能付き電話にする!
- ②海外との電話が不要の方は無償休止手続きを!
- ③「ナンバー・ディスプレイ」や「ナンバー・リクエストサービス」への加入!

困ったときは、ひとりで悩まず「#9110番」又は南砺警察署 52-0110 へ相談してください。

発行: 井波地域づくり協議会 〒932-0231 南砺市山見1739-2「アスモ」2F

Tel/Fax 0763-82-3744 Email: inami.kmn@gmail.com ホームページ: <https://inami-kc.7104.info/>